

和牛産肉能力直接検定成績

荷川取秀樹 金城寛信 真喜志修

I 緒 言

当場では、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、1997年4月から1998年3月までに和牛産肉能力検定（直接法）を終了した牛の成績について取りまとめたので報告する。

II 検定牛および検定方法

検定牛は、肉用牛群改良基地育成事業に基づき、認定された雌牛に計画交配し、生産された子牛のうち、産子調査により選抜された15頭の雄子牛であった。

検定牛の概要は表1に示すとおりであった。

検定牛の父と母の組み合わせでは、第7系桜系×田尻系が5頭、気高系×第7系桜系4頭、田尻系×田尻系2頭、第7系桜系×第7系桜系、田尻系×第7系桜系、気高系×田尻系がそれぞれ1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法¹⁾（直接法）により実施した。直接法とは、7から8ヵ月齢の雄子牛を単房式牛房にて112日間飼養し、その期間濃厚飼料は朝夕2回の時間制限給餌、粗飼料は乾草を不断給餌し、増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表1 検定牛の概要

No.	名 号	生年月日	血 統				生産地
			父	母	母方祖父	母方祖祖父	
1	安之宮	'96. 7.29	安波土井	のりみの2	北国7の3	第20平茂	伊江村
2	北盛	'96. 7.10	北国7の8	やすひめ	安波土井	北国7の3	伊江村
3	国信	'96. 7. 4	北国7の8	おしん	安波土井	本 金	伊江村
4	晴光	'96. 7. 3	晴 姫	ふじさかえ2	系 光	第7系桜	石垣市
5	晴市	'96. 7. 2	晴 姫	み さ よ	北国7の8	系 富 士	石垣市
6	富松6	'96. 9.10	晴 姫	どいまつ2	富 士 晴	安波土井	城辺町
7	新市	'96. 9. 9	北国7の8	こ す み	富 士 晴	安波土井	伊江村
8	博士	'96. 8. 7	北国7の8	はくあり	安福165の9	安波土井	平良市
9	達行	'96. 9.15	晴 姫	ふ じ み	安波土井	本 金	今帰仁村
10	広北繁	'96.11.17	北国7の8	ひ ろ み	紋 次 郎	晴 姫	伊江村
11	晴金姫	'96.10.14	金 鶴	ほりはる	晴 姫	第7系桜	石垣市
12	国 姫	'96.10.14	晴 姫	か ず み	北国7の3	照 姫 3	石垣市
13	北 峰	'96.10. 3	北国7の8	い ぶ き	安波土井	菊 正	平良市
14	勝 博	'96.12. 9	安波土井	かつこの1	忠 福	宝 勝	伊江村
15	人 波	'97. 1. 1	藤 波	ひとひめ	安波土井	篤 郎	今帰仁村

Ⅲ 検定成績

検定成績は、表2および表3に示すとおりであった。各調査項目の平均値は、開始時日齢225日、開始時体重239.0kg、終了時体重363.0kg、180日補正体重199.8kg、365日補正体重393.6kg、DG1.11kg、粗飼料摂取率51.9%各飼料要求率（濃厚飼料2.90、粗飼料3.11、DCP0.43、TDN3.37）であった。

DGについては、晴市1.24kg、国信、博士、晴金姫の1.21kgが優れていた。

365日補正体重については、国信の451.3kgが最も優れており、北峰の336.4kgが最も劣っていた。

飼料要求率（TDN）については、達行の2.89が最も優れ、3.97の勝博が最も劣っていた。

15頭の平均値を1997年度の全国平均値²⁾と比較すると、DGは劣っていたが、飼料要求率（DCP、TDN）は優れていた。

表2 検定成績

No.	名号	体 重 (kg)					DG (kg)
		開始日時	開始時	終了時	180日補正	365日補正	
1	安之宮	203.0	215.0	332.0	194.0	384.0	1.04
2	北盛	222.0	215.0	338.0	180.0	372.0	1.10
3	国信	228.0	285.0	421.0	231.3	451.3	1.21
4	晴光	229.0	215.0	335.0	175.0	360.7	1.07
5	晴市	230.0	255.0	394.0	212.1	422.5	1.24
6	富松6	202.0	250.0	375.0	226.0	432.1	1.12
7	新市	203.0	203.0	325.0	183.4	379.5	1.09
8	博士	236.0	270.0	406.0	215.1	426.6	1.21
9	達行	235.0	215.0	345.0	171.7	365.9	1.16
10	広北繁	204.0	248.0	356.0	222.9	403.0	0.96
11	晴金姫	207.0	228.0	363.0	202.2	418.7	1.21
12	国姫	238.0	278.0	404.0	224.6	421.0	1.13
13	北峰	249.0	210.0	332.0	160.1	336.4	1.09
14	勝博	256.0	265.0	385.0	195.2	381.8	1.07
15	人波	233.0	230.0	330.0	188.4	347.8	0.89
	平均値	225.0	239.0	363.0	199.8	393.6	1.11
	標準差	18.0	27.2	32.4	22.4	34.1	0.10
	全国平均値	—	—	—	—	—	1.17

注) 全国平均値は1997年度(433頭)の平均値

表3 検定成績

No.	名号	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率				体型評点	備考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN		
1	安之宮	53.00	3.09	3.51	0.46	3.66	81.30	
2	北盛	53.00	2.99	3.37	0.45	3.54	81.00	
3	国信	53.00	2.77	3.11	0.42	3.27	82.40	◎
4	晴光	52.00	3.07	3.36	0.46	3.59	81.80	
5	晴市	53.00	2.78	3.10	0.42	3.27	81.90	◎
6	富松6	53.00	2.86	3.23	0.43	3.39	82.00	◎
7	新市	54.00	2.75	3.20	0.42	3.30	81.80	
8	博士	49.00	2.67	2.60	0.38	2.99	82.20	◎
9	達行	55.00	2.36	2.89	0.36	2.89	81.00	○
10	広北繁	51.00	2.74	2.86	0.40	3.15	82.30	
11	晴金姫	52.00	2.62	2.88	0.39	3.07	82.10	◎
12	国姫	52.00	2.89	3.10	0.43	3.35	83.20	
13	北峰	51.00	2.74	2.81	0.40	3.13	81.70	
14	勝博	50.00	3.53	3.47	0.51	3.97	81.80	○
15	人波	46.60	3.63	3.17	0.51	3.92	80.50	
平均値		51.90	2.90	3.11	0.43	3.37	81.00	
標準偏差		2.10	0.33	0.26	0.04	0.32	0.66	
全国平均		—	—	—	0.58	4.46	—	

注) 全国平均値は1997年度の平均値。◎は選抜牛。○は兄弟検定牛。

これらの検定牛の中から母牛の育種価および選抜基準³⁾(DG1.20以上または365日補正体重430kg以上)に基づき晴市、国信、富松6、博士、晴金姫、の5頭を選抜した。

これら選抜牛のうち、晴市、国信、富松6に関しては、平成8年度第2回肉用牛改良増殖協議会専門委員会において産肉能力検定(間接法)の候補牛としては選抜されなかった。

また、達行、勝博に関しては、選抜基準値を満たしていないが、兄弟検定中であり、兄弟検定の成績を加味して判断することとした。

IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会、1993、和牛登録事務必携
- 2) 社団法人全国和牛登録協会、1997、和牛種雄牛産肉能力検定成績
- 3) 沖縄県農林水産部、1988、沖縄県肉用牛群改良基地育成事業実施細則